



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月12日

上場会社名 アイダエンジニアリング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6118 URL https://www.aida.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 会田 仁一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 鶴川 裕光 (TEL) 042 (772) 5231
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日一
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	50,809	△17.1	4,314	15.9	4,371	6.4	3,024	8.6
2019年3月期第3四半期	61,257	20.7	3,723	△10.1	4,109	2.3	2,783	3.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,587百万円(166.7%) 2019年3月期第3四半期 970百万円(△82.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	50.12	50.02
2019年3月期第3四半期	45.11	45.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	107,887	75,821	69.6	1,260.39
2019年3月期	111,564	77,206	68.5	1,238.41

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 75,056百万円 2019年3月期 76,453百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,000	△14.4	6,350	14.2	6,400	8.8	4,650	0.3	77.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は添付資料7ページ「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」の「(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期3Q	69,448,421株	2019年3月期	71,647,321株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	9,897,735株	2019年3月期	9,912,330株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期3Q	60,347,835株	2019年3月期3Q	61,707,164株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報	10
受注の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済については、中国や欧州を中心とした景気減速の影響等で、依然として低成長が続いています。一部に底打ちの兆しが見えるものの、貿易摩擦、イギリスのEU離脱、新型コロナウイルスの感染拡大等、国内外で景気の下振れリスクは拭えない状況です。

鍛圧機械製造業界におきましては、国内、海外ともに受注が減少し、当第3四半期連結累計期間の受注は前年同期比32.6%減の97,323百万円（一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 プレス系機械受注額）となりました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の実績については、自動車関連顧客の設備投資鈍化の影響でプレス機械受注が減少し、受注高は47,150百万円（前年同期比24.8%減）、受注残高は47,274百万円（前年度末比7.2%減）となりました。売上高は、特に中国・米州・欧州での自動車関連向けプレス機械売上の減少等により、50,809百万円（前年同期比17.1%減）となりました。

利益面では、減収影響があったものの、原価率の改善と販管費の減少により営業利益が4,314百万円（同15.9%増）、経常利益は4,371百万円（同6.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,024百万円（同8.6%増）となりました。

セグメント毎の経営成績は以下のとおりであります。

日 本：自動車関連向けプレス機械売上の減少により、売上高は35,474百万円（前年同期比7.1%減）となったものの、セグメント利益は原価率の改善等により3,252百万円（同112.5%増）となりました。

中 国：自動車関連向けプレス機械売上の減少により、売上高は5,120百万円（前年同期比49.4%減）となり、セグメント利益は減収により153百万円（同73.8%減）となりました。

アジア：プレス機械売上、サービス売上とも比較的堅調に推移し、売上高は6,520百万円（前年同期比4.4%減）となり、セグメント利益は862百万円（同5.7%減）となりました。

米 州：サービス売上は堅調に推移したものの、自動車関連向けプレス機械の売上が減少し、売上高は8,439百万円（前年同期比32.4%減）、セグメント利益は減収により368百万円（同35.2%減）となりました。

欧 州：自動車関連向け中・大型プレス機械やサービス売上の減少等により、売上高は8,599百万円（前年同期比24.1%減）となり、セグメント損益は粗利率は改善したものの減収等により67百万円の損失（前年同期は53百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産については、前年度末に比べて3,676百万円減少し、107,887百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少1,764百万円、仕掛品の増加2,082百万円、受取手形及び売掛金・電子記録債権の減少3,256百万円等であります。

負債は、前年度末に比べて2,291百万円減少し、32,066百万円となりました。主な要因は、買掛金及び電子記録債務の減少1,229百万円、前受金の減少692百万円等であります。

純資産は、前年度末に比べて1,384百万円減少し、75,821百万円となりました。主な要因は、自己株式の増加による純資産の減少686百万円、為替換算調整勘定の減少475百万円等であります。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は69.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、為替差損及び欧州事業再編費用の増加により、経常利益を6,500百万円から6,400百万円に変更しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,155	29,391
受取手形及び売掛金	22,859	19,575
電子記録債権	2,213	2,241
製品	2,761	2,857
仕掛品	9,814	11,896
原材料及び貯蔵品	3,914	3,694
その他	3,906	3,580
貸倒引当金	△231	△220
流動資産合計	76,396	73,017
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,102	25,380
減価償却累計額	△16,613	△17,000
建物及び構築物（純額）	8,488	8,379
機械装置及び運搬具	17,687	17,459
減価償却累計額	△10,451	△11,028
機械装置及び運搬具（純額）	7,235	6,431
土地	7,301	7,307
建設仮勘定	296	468
その他	3,578	3,620
減価償却累計額	△2,967	△3,059
その他（純額）	610	560
有形固定資産合計	23,932	23,147
無形固定資産	800	780
投資その他の資産		
投資有価証券	6,808	7,187
保険積立金	2,219	2,283
退職給付に係る資産	856	879
繰延税金資産	405	471
その他	178	153
貸倒引当金	△32	△32
投資その他の資産合計	10,435	10,942
固定資産合計	35,167	34,870
資産合計	111,564	107,887

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,806	5,848
電子記録債務	4,671	4,401
短期借入金	2,491	2,450
1年内返済予定の長期借入金	500	1,000
未払金	1,123	980
未払法人税等	617	1,013
前受金	8,291	7,598
製品保証引当金	596	603
賞与引当金	1,080	612
役員賞与引当金	44	22
受注損失引当金	56	47
その他	2,148	2,071
流動負債合計	28,428	26,651
固定負債		
長期借入金	1,000	500
長期未払金	817	892
繰延税金負債	2,024	1,887
株式給付引当金	401	455
退職給付に係る負債	1,385	1,388
その他	300	290
固定負債合計	5,929	5,414
負債合計	34,358	32,066
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,831	7,831
資本剰余金	12,415	12,415
利益剰余金	55,777	55,538
自己株式	△4,230	△4,917
株主資本合計	71,793	70,866
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,617	3,687
繰延ヘッジ損益	△1	5
為替換算調整勘定	645	170
退職給付に係る調整累計額	398	326
その他の包括利益累計額合計	4,660	4,190
新株予約権	139	139
非支配株主持分	613	624
純資産合計	77,206	75,821
負債純資産合計	111,564	107,887

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	61,257	50,809
売上原価	50,378	39,802
売上総利益	10,878	11,006
販売費及び一般管理費	7,154	6,691
営業利益	3,723	4,314
営業外収益		
受取利息	73	74
受取配当金	147	158
養老保険満期償還益	13	0
保険解約返戻金	167	—
その他	114	93
営業外収益合計	516	326
営業外費用		
欧州事業再編費用	—	71
支払利息	27	21
為替差損	36	131
その他	66	45
営業外費用合計	130	269
経常利益	4,109	4,371
特別利益		
固定資産売却益	17	3
投資有価証券売却益	—	38
特別利益合計	17	42
特別損失		
労働災害関連損失	—	26
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	184	22
その他	4	0
特別損失合計	189	49
税金等調整前四半期純利益	3,938	4,364
法人税等	1,147	1,308
四半期純利益	2,790	3,056
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	32
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,783	3,024

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,790	3,056
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,400	69
繰延ヘッジ損益	5	7
為替換算調整勘定	△391	△475
退職給付に係る調整額	△33	△71
その他の包括利益合計	△1,820	△469
四半期包括利益	970	2,587
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	963	2,554
非支配株主に係る四半期包括利益	6	32

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(1) 自己株式の取得

当社は、2019年6月11日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得を決議し、自己株式を2,198,900株、1,999百万円取得しました。

(2) 自己株式の消却

当社は、2019年6月11日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を行うことを決議し、2019年11月11日付で自己株式を2,198,900株、1,309百万円消却しました。

この結果、利益剰余金が1,309百万円、自己株式が同額それぞれ減少し、当第3四半期連結会計期間末における利益剰余金は55,538百万円、自己株式は9,897,735株、4,917百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」を「法人税等」として一括掲記しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	日本	中国	アジア	米州	欧州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	25,098	9,501	3,474	12,211	10,972	61,257	—	61,257
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,098	625	3,349	269	353	17,696	△17,696	—
計	38,196	10,126	6,823	12,480	11,325	78,953	△17,696	61,257
セグメント利益又は損失(△)	1,530	584	915	568	△53	3,545	178	3,723

(注) 1 売上高の調整額はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益又は損失(△)の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	日本	中国	アジア	米州	欧州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	25,661	4,724	3,862	8,194	8,366	50,809	—	50,809
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,812	396	2,657	245	232	13,343	△13,343	—
計	35,474	5,120	6,520	8,439	8,599	64,153	△13,343	50,809
セグメント利益又は損失(△)	3,252	153	862	368	△67	4,569	△254	4,314

(注) 1 売上高の調整額はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益又は損失(△)の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2020年1月14日開催の取締役会において、2020年4月1日(予定)を効力発生日として、当社の連結子会社である株式会社アクセスを吸収合併することを決議し、同日付で合併契約を締結いたしました。

1. 取引の概要

(1) 被結合企業の名称及びその事業の内容

被結合企業の名称 株式会社アクセス

事業の内容 金属加工機械、金属工作機械、自動搬送機械、計測機械、検査機器及びそれらに付属する装置の制御機器並びにメカトロニクスの開発、設計、製造、販売等

(2) 企業結合日

2020年4月1日(予定)

(3) 企業結合の法的形式

当社を吸収合併存続会社とする吸収合併方式で、株式会社アクセスは解散いたします。

(4) 結合後企業の名称

アイダエンジニアリング株式会社

(5) 企業結合の目的

株式会社アクセスは1992年の設立以来、プレス機械の付帯設備である材料供給装置や自動搬送装置の製造・販売を行ってまいりました。当社は、2017年度からスタートした中期経営計画において自動機(FA)分野を重点事業と位置づけ、その拡大・強化に努めてまいりましたが、近年、プレス関連の自動機製品の高付加価値化・多様化が求められる中で、株式会社アクセスを吸収合併することにより、当社のプレス事業との連携を一層強化させ、自動機製品の競争力を向上させることを目的としております。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成31年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成31年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行う予定であります。

3. 補足情報

受注の状況

当第3四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高		受注残高	
	金額（百万円）	前年同期増減率（%）	金額（百万円）	前年度末増減率（%）
日本	22,301	△32.1	25,766	△11.5
中国	4,148	△40.0	4,689	△10.9
アジア	4,699	11.9	3,483	31.6
米州	7,775	△17.3	5,773	△6.8
欧州	8,225	△12.2	7,561	△1.8
合計	47,150	△24.8	47,274	△7.2

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。